



うみねこ

第27号

2009年

3月25日(水)

新日本石油精製株式会社 仙台製油所

〒985-0901 仙台市宮城野区港5-1-1

電話番号 022-363-1122、フリーダイヤル 0120-330-201

<http://www.eneos.co.jp/company/gaiyou/jigyousho/sendai/index.html>

大容量泡放射システムの導入について



大容量泡放射砲放射実験風景
(イメージ)

2003年9月に発生しました、十勝沖地震による北海道苫小牧市での浮き屋根式タンク全面火災を踏まえ、新たな防災資機材として「大容量泡放射システム」を広域共同防災組織に導入しましたのでお知らせいたします。

これは、全国を12地区に分け、第2地区の東北地方は、仙台製油所、秋田国家石油備蓄基地、東北

電力秋田火力発電所、むつ小川原国家石油備蓄基地、東北電力八戸火力発電所の5事業所で構成する広域共同防災を組織し、タンク火災に備えます。最大のタンクを有する秋田国家石油備蓄基地タンク直径により、*1最大放水能力；6万L/分、放水距離；130m以上の大容量の泡放射システムを秋田国家石油備蓄基地に配備いたしました。万が一の場合は、秋田より8時間以内で輸送し、既存の消防車9台と連携して消火に当たります。

*1 一般の化学消防車放水能力

2,000～3,000L/分程度、放水距離 50m



原油タンクに向けた放射実験風景
(イメージ)

陸上出荷炭化水素ベーパー回収装置について

2006年4月、環境省から光化学オキシダントの原因の1つである揮発性の有機化合物排出量を、2010年度までに、2000年度対比30%削減の目標が示されました。

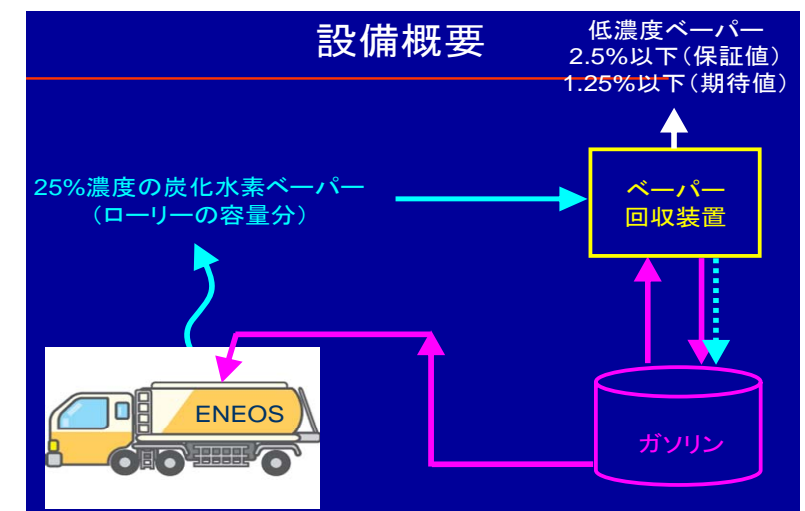
仙台製油所では、対象となるタンク設備については、既に対策を実施済みですが、更に自主的な取り組みとして、タンクローリーやタンク車に積み込む際に発生する、ガソリンの気化したガスを回収する装置、「陸上出荷炭化水素ベーパー回収装置」を建設し、本年1月より稼働を開始いたしました。

この装置の稼働により、ガソリンをタンクローリーやタンク車に積み込む際に発生する、揮発性有機化合物の排出量が大幅に削減され、2000年度対比で50%削減が可能となる見込みです。

仙台製油所では、これからも環境に配慮した製油所運営をしてまいりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。



陸上出荷炭化水素ベーパー回収装置



見学のお申し込み・本紙に関するお問合せは、仙台製油所地域交流室 フリーダイヤル：0120-330-201